

**「平成最後の夏は、まだ終わらない。」**  
**豪華アーティストが集結する「桧葉町サマーフェスティバル2018」9月30日(日)開催!**

福島県・桧葉町は、今年も天神岬スポーツ公園にて「桧葉町サマーフェスティバル2018」を開催いたします。昨年度は豪華アーティストによるスペシャルライブなどが開催され、大いに盛り上がりました。



今年で25回目となる本フェスティバルは、昨年に引き続き豪華アーティストによるスペシャルライブや、夜空を彩る3000発の花火、郷土料理のマミーすいとんの振る舞いなど、盛りだくさんのコンテンツをご用意しています。

当日は色々な屋台や子ども縁日など、1日中楽しめる内容となっておりますので、ぜひ皆様お誘いあわせのうえご来場ください。

**「桧葉町サマーフェスティバル2018」概要**

- 開催日時：2018年9月30日(日) 開場/12:30分 開演/14:00
- 会場：桧葉町天神岬スポーツ公園
- 出演者：サンボマスター/ストレイテナー/MACO/  
渡辺俊美 & THE ZOOT16
- 主催：桧葉町サマーフェスティバル実行委員会
- お問い合わせ：桧葉町新産業創造室 (0240-25-2111)



<本件に関するお問い合わせ先>

桧葉町サマーフェスティバル実行委員会事務局 (桧葉町新産業創造室)

電話：0240-25-2111

## 「檜葉町サマーフェスティバル2018」出演アーティスト詳細

### ■ サンボマスター



サンボマスター 山口隆 (Vo&G)、近藤洋一 (B&Cho)、木内泰史 (Dr&Cho) によるロックバンド。2000年に結成後、2003年にオナーマシーンとのスプリットアルバム『放課後の性春』でメジャーデビュー。その後、フジテレビ系ドラマ『電車男』の主題歌に起用された「世界はそれを愛と呼ぶんだぜ」で一気に知名度が高まる。小規模のライブハウスから、大型音楽フェスまで幅広いフィールドで活動する。

### ■ ストレイテナー



ストレイテナー ホリエアツシ (Vo&G)、ナカヤマシンペイ (Dr)、日向秀和 (B)、大山純 (G) によるロックバンド。1998年結成。2000年にシングル「戦士の屍のマーチ」でデビュー。当初はホリエアツシとナカヤマシンペイによるツーピースだったが2004年に日向秀和が、2008年に大山純が加入し現在の編成となる。

### ■ MACO



2014年にメジャーデビュー以降、ラブソングを中心に共感を呼ぶ歌詞や、歌声で10代～20代の男女に絶大な人気を誇るシンガーソングライター。インディーズ時代にリリースされたミニアルバム『22』は当時大ヒット中だった『Let It Go』を抜き、iTunes総合アルバムチャートで1位を獲得。メジャーデビューのきっかけとなったテイラー・スウィフト「私たちは絶対に絶対にヨリを戻したりしない～ We Are Never Ever Getting Back Together」の"テイラー公認"日本語カバーを筆頭に注目を集める。

### ■ 渡辺俊美 & THE ZOOT16



2002年にTOKYO No.1 SOUL SETのギター兼ヴォーカル、渡辺俊美が結成した日本のバンド。バンドは様々な音楽スタイルを効果的に混合することで有名で、パンク・ロック、ダンス・ミュージック、レゲエといった音楽を取り入れている。ジャンルに関してはクンビアやメスティソ(混血音楽)の流れを汲んだ多様な音世界も表現されており、渡辺俊美の初期衝動で始まったバンドが、その音楽的好奇心を更新しながら16年活動を継続している。

<本件に関するお問い合わせ先>

檜葉町サマーフェスティバル実行委員会事務局 (檜葉町新産業創造室)

電話：0240-25-2111